

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	東海	(2) 記載者氏名:	西山 秀夫	会員番号:	9600	事務局整理記入欄	東海 - 21
分水嶺区分	W013烏帽子岳～W012三村界	(3) 山行日:	2005年	3月	13日	(4) 天候	曇

(5) 参加者氏名および会員番号				サポート要員氏名および会員番号			
西山 秀夫	9600			大口 瑛司	5183		
和田 豊司	6797						
大島 忍	13078						
計				計			
3名				1名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略: 烏帽子岳山頂幕営地から南へ1946m,1844m標高点を経てカラタキの峰へ回り、1641.1m三角点から中俣沢林道へ下山

アプローチ: 山行報告書: 東海 - 20に記載の通り

地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	烏帽子岳山頂	贄川						1,952		6:45			
分水嶺到達点	同上	贄川						1,952		6:45	B-4		
	標高点	贄川						1,946	10:00		B-4		
分水嶺離別点	三村界、w012	贄川						1,844	10:30		B-4		
	からたきの峰	贄川						1,858	11:10		B-4		
分水嶺離別点													
歩行終了点	林道ゲート	古見						950	14:00		雪		
総歩行時間(休憩時間を除く):												7時間00分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W013	烏帽子岳	3	不明	不明	積雪下

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

国有林の境界見出し標のみ


(9) 水および植生に関連した特記事項

朝日村側は山頂稜線までカラマツの植林である。沢沿いには若干自然林が見られる。  
尾根上の所々にはダケカンバの小規模な群落が認められる。  
烏帽子岳および分水嶺の木祖村側は自然林(針葉樹、ダケカンバなど)が占める。  
いずれも国有林で、長野営林署、数原営林署の界標が見られた。


(10) その他の特記事項

烏帽子岳から1901mまではアップダウンが多く、それ以降は斜面がゆるやかとなる。  
1946mの手前のピークからスキー滑降を試みた(シールのまま)。1946mカラタキの峰へは素晴らしい雪原となりスキーの威力が発揮できた。その先は1641.1mまで何とか使える程度。林道まではワカンに替えた。  
全体としては50%程度のスキー使用にとどまる。


(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:  
これから辿る分水嶺稜線を望む、烏帽子岳から
